

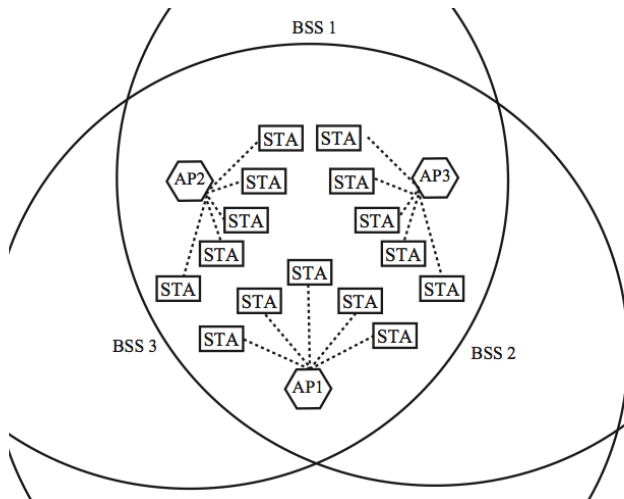
タイトル

無線LAN向けチャンネル割当法

Chanel Assignment Method for Wireless LANs

概要

無線LANのさらなる高速化のために、IEEE 802.11 acではチャンネル帯域幅の拡大が検討されている。しかし、チャンネル帯域幅が拡大される一方で、無線LANに割り当てられている帯域は一定のためチャンネル数が減少する。これによりセルがオーバーラップしたAP間で同一チャンネルを使う機会が増え、結果としてパケットの衝突に起因するスループットの低下が懸念される。そこで、チャンネル割当によってトータルスループットを向上させる手法を示す。



複数のAPのセルがオーバーラップした場合

URL <http://www.imc.cce.i.kyoto-u.ac.jp/>

産業界への展開例・適用分野

複数の無線LANが設置してあるホットスポットにおける各APへの効率的なチャンネル割当や、マンションや集合住宅地における隣接APとのセルのオーバーラップ時におけるセル間干渉の低減。

	氏名	専攻	研究室	役職(学年)
展示担当者	花田 光平	通信情報システム	守倉研究室	修士1年
	山本 高至	通信情報システム	守倉研究室	准教授
	守倉 正博	通信情報システム	守倉研究室	教授